

川崎高校手品部殺人（字）事件

cocoratte

さて、ここ川崎高校の手品部では毎日手品の練習を行っている。

といっても大したものではない。カード手品やボールを使った手品ぐらいだ。

あと変わったところといえば、三人の部員がミステリの大ファンってことかな。

新入部員の女子のけい、男子のえむ、女子でリーダーの、える。

もちろん、あだ名だよ。あたしがえる。

ところがある日、脅迫状が届いた。机の上にあった。部室は鍵はかかっていない。

それは、以下のようなものだ。

"「手品をやめろ。さもなくば、

諸君らのアルファベットが一つずつ少なくなるであろう」

差出人：殺人（字）倶楽部"

もちろん、あたしたちは驚いたわ。あたしたちのあだ名は、

アルファベットからとっているから、殺人が起こるんじゃないかって？

でも、そのとき、

妙なことに気付いたの。あたしこと、える（L）は。

アルファベット順に少なくなれば、えむ（M）。女子のけいが少なくなれば、える（L）。男子

のえむくん（M）の文字がアルファベット順に、

すくなくなれば、えぬ（N）。

「つまり犯人は一番安全な、けいなのよ！」とあたしはえむくんにいう。

「きつといたずらがしたかったのね？」とあたしはけいにいう。

それを聞いて、けいは泣き出した。

「酷い...。みんな不安がっているのに！」とけい。

「逆順ってことも考えられるぜ」と男子のえるが助け舟を出す。

つまり、けいが殺される。ということだ。

「じゃあ、これはなにかしら？」とあたしこと、えるはいった。

けいのカバンには、脅迫状と同じ封筒。同じ手紙の用紙が入っていた。

「酷いな。裏切りってわけか」とえむくんがいう。こういったときの彼って素敵。

「そうよ。この部から出て行きなさい！」とあたし。

こうして、あたしは幸せになった。だって、犯人を捕まえられたんですもの！

「違うよ。違うよ」新入生のけい。ふと、それを見て、あたしは不安にかられる。

とんでもない間違いをしてしまったんじゃないかと。

でもいいの。

さあ、読者はあたしの日記を読んで、犯人が分かったかしら？

誰が利益を得たのか？ 誰が犠牲となったのか？

そして、誰が安全だったのか？

答えは明確じゃない？

犯人はあたしよ。だってあたしこと、えるが一番安全でしょ？

それから、あたしたちが手品師ということ、

忘れてはいけないわ。彼女のカバンに細工するぐらい簡単だった。ってわけ。

動機は……。

「パンパカパーン！ 「手品部恒例新入生歓迎イベント」は如何だったかしら！？」

とあたしたちは泣いている、けいに微笑んだ。

「みんな、これに騙されるのよ。しかも手品部の極秘イベントだから口外不可」

ぎゅってけいを抱いた後はケーキといっしょに、パーティーの時間。

けいはすっかり怒っているけど、それはあたしたちの青春。